30th Gotemba-Nishi KARATE

“30th”GONISHI

GOTEMBA-NISHI

KARATE

2012

創部３０周年記念

御殿場西高等学校空手道部

空手道部創部三十周年に寄せて

学校長
勝間田芳壽

空手道部の創部三十周年を心よりお祝い申し上げます。

本校空手道部が、昭和五十八年の創部以来輝かしい活動ができましたのも、関係の皆様方のお力添えのお蔭であると深く感謝する次第です。

昭和五十八年に菊池先生が本校に赴任し空手道部を創部してから、三十年の歳月がたちました。この間、菊池先生、細矢先生はじめ指導者の先生方、そして部員の皆さんの努力により、確かなる伝統をつくりあげられました。全国優勝二十四回、全国大会二十六年連続出場など、輝かしい実績の数々は、本校にとりまして大変名誉なことであります。

学校教育の一つである部活動の目標は、人間形成であると思います。空手道部員の学校生活の様子や、礼儀正しさは全校生徒の模範となるところであります。

この三十周年を機に、空手道部がさらに発展していくことを願ってやみません。今後益々の皆様のご支援をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

空手道部後援会長
内海整骨院　院長
内海隆治

「自分は大学で強い選手になり、将来は一流の指導者を目指します！」と私に熱意を持って語ったのは、三十六年前の菊池君です。私はその時、情熱と才能あふれるこの男ならば、必ずや将来日本一の指導者になると確信しました。

約束通り、大学時代、選手として全国に名を轟かせた菊池先生は、昭和五十八年に御殿場西高校に赴任し、空手道部を創部。私は、指導者としての菊池先生を三十年間見守ってきました。練習場所にも不自由した創部当初の苦しい時期を乗り越え、創部四年目にして全国大会初出場、七年目にして念願の全国初優勝を達成。その後も破竹の勢いで全国優勝を重ねていきました。

一見順風満帆に見えるものの、その裏では多くの壁にぶつかりながら、苦しみもがいている菊池先生の姿があったのも事実です。しかし、いつも必ず壁を乗り越え、指導者として、教育者として成長し続けてきたことに感服させられています。菊池先生が、並々ならぬ努力を日々積み重ねてきたからこそ、長きにわたり全国レベルの選手を輩出し続け、幾多の全国優勝を達成することが出来たのです。

そして、菊池先生が築いてきた伝統を受け継ぎ、情熱を持って指導を続けている細矢監督、部活動に青春のすべてを賭けてきた歴代の部員諸君のご努力も素晴らしいものだと思います。

また、御殿場西高空手道部の人間形成を目的とする活動ぶりは、地元の方々のみならず全国的にも評価され認められております。「礼に始まり礼に終わる」空手道部の姿勢は青少年健全育成という観点からも、意義深いものであります。

最後に、関係の皆様方に、長年にわたりお力添え頂きましたことに感謝し、今後ますますのご支援をお願い申し上げご挨拶とさせていただきます。

《30年間の大会実績》

（団体戦、個人戦の優勝、入賞回数）

全国大会（全国高校総体、全国選抜、国民体育大会）	優勝	24
	準優勝	21
	第3位	37
国際大会（世界、アジア・東アジア）	優勝	5
	準優勝	5
	第3位	6

副校長
空手道部部長
菊池　基

昭和五十八年に産声を上げた本校空手道部は、平成二十四年度をもちまして創部三十周年という節目の年を迎えることが出来ました。これもひとえに、我が部を支えてくださいました皆様方のご理解とご支援があればこそと深く感謝しております。

三十年間を振り返ってみますと、決して平坦な道のりではありませんでした。歴代の部員達のたゆまぬ努力の結晶が、三十年という歴史の中に刻まれています。共に笑い、共に涙した日々の積み重ねが、今日の我が部を形づくったのです。青春をのすべてを賭け、かけがえのない「伝統」という宝物を残してくれた卒業生諸君、本当にありがとう。卒業生諸君の熱き思いは脈々と受け継がれ、現在の我が部の大きな力となっております。

歴代の部員達と苦楽を共にし歩み続けてきたこの三十年間は、私の人生そのものです。振り返ると、卒業生一人ひとりの顔が鮮明に浮かんできます。日々の練習の思い出、合宿での思い出、部員と共に流したうれし涙、悔し涙、全国制覇し宙に舞った思い出、悔しさで眠れぬ夜を過ごした思い出。卒業生諸君と出会い、成長の喜びを分かち合えたことを、本当に幸せに思っています。三十周年という節目に立った今、「出会い」とはいかに大切なものであるかを改めて実感しています。

現在、指導の最前線で頑張っている細矢真人監督、細矢海代子コーチは実に頼もしい存在です。我々指導スタッフはこの三十周年を節目として、さらに努力を積み重ねていく所存です。指導者と部員が一丸となり、富士山のような日本一強く、日本一美しい空手道部を目標に全力を尽くしていきます。支えてくださる多くの皆様への感謝の気持ちを胸に、一歩一歩前進していきます。

最後になりましたが、どうかこれからも皆様方のなお一層のご支援をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

空手道部監督
細矢真人

この度、本校空手道部は、校長先生をはじめとする先生方や関係の皆様方に多くのお力添えをいただきながら、三十周年の節目を迎えることができました。力強く支え、温かく見守ってくださった方々に心より感謝申し上げます。

昭和五十八年に発足してからの日々の活動の中で、逆境に打ち克つ強さや立ち向かう勇気、悔し涙や嬉し涙、仲間との楽しい時間、共に分かち合う喜びなど、歴代の部員一人一人が精一杯過ごしてきた時間が積み重なり三十年の伝統が築き上げられてきました。それが誇りとして今の部員たちを支え、日々の活動の活力となっています。

この三十周年の節目を機に、空手道部がさらに発展できるよう、監督として気を引き締め、一層努力を重ねていきたいと思います。

今後とも、ご指導の程よろしくお願い申し上げます.

空手道部副部長
菊池いづみ

空手道部が創部三十周年を迎えることができましたのは、部を支えてくださった多くの方々のお陰であると、深く感謝しております。日々の活動を通して生徒達が成長していく姿を見守ることができ、本当に幸せだと感じています。感動を与えてくれた生徒の皆さん、保護者の皆様、関係の方々に心より御礼を申し上げます。

空手道部コーチ
細矢海代子

三十周年という節目を迎えるにあたり、様々な形でご支援いただいた方々に深く感謝を申し上げます。三十年間の歩みの中には、部員の数だけ様々なドラマがあったことでしょう。ここで仲間と共に過ごした時間が一人一人の心の中に生き、人生の財産として輝くよう、これからも生徒と共に努力を重ねていきたいと思います。

卒業生代表

勝又　誠

御殿場西高等学校空手道部の創部三十周年を、心からお慶び申し上げます。

思い起こせば、私が空手道部に入部しましたのは二十六年前になります。当時の練習場所は卓球場から間借りをしたもので、肩身の狭い思いでした。その後、旧柔道場で練習できるようになりましたが、畳の上での練習で床の上とは勝手が違い苦労しました。

当時、菊池監督のご指導のもと、全国制覇を目標に、血のにじむような練習をしていたことは、今でも鮮明に思い出します。菊池監督は、創部間もない空手道部を日本一にしようと、当時の部旗に描かれた「気迫」のもと、日々の練習にあらゆる練習方法を取り入れ、練習試合に出向き、合宿等も行ってくださいました。毎日、基本のアップから始まり、緊迫した組手の打ち込み、数十回にも及ぶ形の反復練習、部内組手試合と過酷なものでした。辛いこともありましたが空手道部を三年間やりぬいて、本当に良かったと思っています。

苦楽を共にした先輩、同期の仲間、後輩は私にとって宝です。特に、菊池監督のご苦労は想像を絶するものだったと、感謝の気持ちでいっぱいです。青春真っ只中の高校三年間を、空手道部で過ごすことが出来ましたのは、私の人生にとってかけがえのない思い出です。

私の卒業後も、空手道部が活躍し続け、そして、我が子が、私の青春を賭けた母校空手道部に入部し活動していることは、親としても万感の思いです。

私は今でも空手道を通じ多くの方々と出会い、ご指導いただいております。それは、社会人としての自分にとって、大きな力になっている素晴らしい武道です。本日この会が温故知新、新旧の皆様の交流の場、新たな絆の生まれる場になりますように、親睦の輪を広げ深めていただけますよう願っています。

最後に、御殿場西高校空手道部が、四十年、五十年と歴史（道）を積み重ねていけますよう、皆様方のお力添えを末永くお願い申し上げます。

卒業生父母代表

芹澤隆一

御殿場西高校空手道部創部三十周年、誠におめでとうございます。

平成十一年十月、保護者代表をお引き受けして早々、選抜予選でつまづきました。県大会、男子団体組手決勝で負けてしまったのです。西高関係者すべての人が落胆してしまいました。その時の保護者の気持ちは複雑でした……

しかし、菊池監督と細矢コーチの執念によって短期間でチームを立て直しいざ東海大会へ。結果は見事優勝。その時の喜びは格別でした。勢いに乗った男子チームは、平成十二年の春、北海道での全国選抜大会、男子団体組手決勝で奇跡的な逆転劇を演じついに全国制覇！さらに、岐阜インターハイで春夏連覇！名実ともに日本一。勝間田校長と菊池監督の胴上げは、私の最高の思い出となっています。

創部し実績をつくった菊池夫妻。その伝統を受け継いだ細矢夫妻。

御殿場西高校空手道部永遠であれ！

在校生保護者代表

田坂一己

御殿場西高等学校空手道部がこのたび創部三十周年を迎えられます事を心よりお祝いを申し上げます。

三十年という歴史と伝統を創りあげ受け継いでこられた、菊池部長はじめいづみ副部長、細矢監督、海代子コーチのご努力に空手道部後援会現役父母代表理事として深く御礼を申し上げます。

私も御西空手部保護者の一人として子供達の色々な涙や葛藤そして笑顔を見てきました。今年八月の全国高校総体では、男女とも団体組手第三位という成績を収めました。目標であった優勝には届きませんでしたが、素晴らしい経験と精神的な成長という、色あせない光り輝く最高の金メダルを獲得したと思います。

今後も御殿場西高空手道部がますます発展し、日本の将来をリードする「御西拳士」が育つ貴重な土壌となることを祈念しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

◆御殿場西高等学校空手道部の歩み◆

1983(昭和58)年	4月	菊池基教諭赴任。空手道部を創設し監督就任
1987(昭和62)年	3月	全国高校選抜大会初出場
	8月	全国高校総体初出場
1989(平成元)年	4月	菊池いづみ部長就任
	9月	はまなす国体少年男子組手優勝(片山靖隆)
1990(平成2)年	3月	全国高校選抜大会男子団体形優勝
	8月	全国高校総体男子個人形優勝(鈴木和也)
	12月	第1回海外遠征(アメリカ)
		空手道の演武を通して国際交流をはかる
1992(平成4)年	3月	全国高校選抜大会男子団体形優勝・個人形優勝(山田勲)
	9月	アジアジュニア選手権大会(於マレーシア)
		男子個人形優勝(山田勲)
	12月	第2回海外遠征(オーストラリア)
1994(平成6)年	3月	全国高校選抜大会女子団体組手優勝
	6月	アジアジュニア選手権大会(於ベトナム)
		団体組手優勝(日本チームメンバー藤原海代子)
		女子個人組手2位・女子個人形2位(藤原海代子)
1995(平成7)年	8月	全国高校総体女子個人組手優勝(小笠原万記)
1996(平成8)年	3月	全国高校選抜大会女子個人組手優勝(小笠原万記)
	8月	アジアジュニア空手道選手権大会(於台湾)
		女子個人組手優勝(小笠原万記)
1997(平成9)年	8月	全国高校総体女子団体組手優勝・女子総合優勝
1999(平成11)年	3月	全国高校選抜大会女子個人組手優勝(奥家沙都美)
	4月	細矢真人コーチ就任
	10月	熊本国体少年女子組手優勝(奥家沙都美)
2000(平成12)年	3月	全国高校選抜大会男子団体組手優勝
	4月	細矢海代子コーチ就任
	8月	全国高校総体男子団体組手優勝(春夏連覇達成)
		男子総合優勝
		男子個人組手優勝(小笠原大晃)
2003(平成15)年	8月	全国高校総体男子個人組手優勝(平石雄也)
	10月	静岡国体少年女子組手優勝(阪本静佳)
2005(平成17年)	3月	全国高校選抜大会男子個人組手優勝(佐藤龍治)
	4月	細矢真人監督就任
2006(平成18年)	3月	全国高校選抜大会女子個人組手優勝(葛西美由紀)
2007(平成19年)	3月	全国高校選抜大会男子団体形優勝
2009(平成21年)	3月	全国高校選抜大会女子個人組手優勝(金子悠里)
2009(平成21年)	8月	全国高校総体男子個人組手優勝(須田芳弘)
2010(平成22年)	3月	全国高校選抜大会女子団体組手優勝
2012(平成24年)	2月	御殿場市特別表彰　受賞
	5月	東アジアジュニア＆カデット選手権大会(於東京都)
		女子個人形優勝(東海林ゆりあ)

☆全国高校総体　26年連続出場中
☆全国高校選抜大会　26年連続出場中
☆国民体育大会　24年連続出場中

1987(昭和62)年3月、全国大会初出場　全国高校選抜大会(日本武闘館)

1992(平成4)年12月、第2回海外遠征(オーストラリアにて)

2000(平成12)年8月、全国大会　春夏連覇(岐阜県)

2008(平成20)年10月、市民会館大ホールにて演武披露

2012(平成24)年2月、御殿場市特別表彰　受賞

栄光の全国大会・国際大会優勝

1990（平成2）年8月宮城インターハイ男子個人形優勝の鈴木和也（宮城県仙台市）現在、青山学院大学空手道部監督として指導にあたっている

1989（平成元）年9月はまなす国体少年男子組手優勝の片山靖隆と菊池監督（優勝報告会にて）

1990（平成2）年3月全国高校選抜大会男子団体形優勝（日本武道館）

1992（平成4）年9月アジアJr選手権優勝の山田　勲
（マレーシア、クアラルンプール）

1992（平成4）年3月全国高校選抜大会男子団体形優勝
（日本武道館）

1996（平成8）年9月アジアJr選手権個人組手
優勝の小島（小笠原）万記（優勝報告会にて）

1994（平成6）年3月全国選抜大会女子団体組手優勝の瞬間（日本武道館）
中央が現コーチの細矢（藤原）海代子

1995（平成7）年8月全国高校総体女子個人組手優勝
小島（小笠原）万記（岡山県津山市）
※この後平成8年3月の全国選抜でも優勝し2大会連続優勝を果たした。

1999（平成11）年3月全国高校選抜大会女子個人
組手優勝　志水（奥家）沙都美（広島県）

1997（平成9）年8月京都インターハイ女子団体組手優勝（京都府宇治田原町）

1999（平成11）年10月くまもと国体少年女子組手
優勝の志水（奥家）沙都美（左）と成年女子の小島
（小笠原）万記（くまもと国体会場にて）

2000（平成12）年8月岐阜インターハイ男子個人組手優勝　小笠原大晃

2000（平成12）年3月全国高校選抜大会男子団体組手優勝（北海道札幌市）

2000（平成12）年8月岐阜インターハイ男子団体組手優勝《春夏連覇》（岐阜県美濃加茂市）

2003（平成15）年10月NEWわかふじ国体　少年女子組手優勝
阪本静佳（前列　左から2人目）（アクトシティ浜松にて）

2003（平成15）年8月全国高校総体男子個人組手優勝
平石雄也（長崎県佐世保市）

2009（平成21）年3月全国高校選抜大会女子個人組手優勝　金子悠里（東京体育館にて）

2006（平成18）年3月全国高校選抜大会女子個人組手優勝　葛西美由紀（愛媛県武道館にて）

2005（平成17）年3月全国高校選抜大会男子個人組手優勝　佐藤龍治（福岡国際センターにて）

2007（平成19）年3月全国高校選抜大会男子団体形優勝（和歌山ビークホエールにて）

2010（平成22）年3月全国選抜大会女子団体組手優勝（宮城県仙台市）

2009（平成21）年8月全国高校総体男子個人組手優勝　須田芳広（兵庫県立武道館にて）

平成24年度の活躍

東アジアジュニア＆カデット空手道選手権大会

平成24年５月26日、27日
於 東京都日野市

女子個人形　優勝（東海林ゆりあ）
男子個人組手
－68kg級　第３位（五明　宏人）

平成24年度全国高校総体空手道競技

平成24年７月29日～８月１日
於 新潟市

男子団体組手第3位

女子団体組手第3位

男子主将
田坂叡史（としちか）

空手道部は、創部された菊池先生、現在監督である細矢先生と、伝統がしっかりと受け継がれています。私は御西で技術だけでなく思いやりや感謝の心など、人間として大切なことを学びました。御西の伝統を受け継ぎ、どこにも負けないチーム御西の団結力で、これからも日本一を目指していってほしいと思います。

女子主将
福井晴香

私は、創部三十周年という記念すべき節目の年に女子主将をさせていただいたことを誇りに思います。
三十年という長い年月に、伝統と歴史を感じます。私は部活動を通して人間的に大きく成長できました。
指導してくださった先生方と支えてくださった多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも頑張っていきたいと思います。

御殿場西高等学校空手道部大会記録

《全国大会ベスト8位以上》

S63.	3	全国選抜大会	男子団体形	8 位	
H 1.	3	全国選抜大会	女子個人組手	5 位	（木村智佳）
	8	全国高校総体	女子総合	5 位	
			女子団体組手	5 位	
	9	はまなす国体	男子個人組手	優　勝	（片山靖隆）
H 2.	3	全国選抜大会	男子団体形	優　勝	
	8	全国高校総体	男子個人形	優　勝	（鈴木和也）
H 3.	3	全国選抜大会	男子団体形	準優勝	
	8	全国高校総体	男子総合	6 位	
			男子団体組手	5 位	
			女子総合	3 位	
			女子団体組手	3 位	
			女子個人組手	5 位	（鳥居由紀恵）
H 4.	3	全国選抜大会	男子団体形	優　勝	
			男子個人形	優　勝	（山田　勲）
			男子団体組手	5 位	
	8	全国高校総体	男子総合	3 位	
			男子団体組手	3 位	
			男子個人形	準優勝	（山田　勲）
	9	アジアジュニア選手権	男子個人形	優　勝	（山田　勲）
H 5.	3	全国選抜大会	男子団体組手	準優勝	
			男子団体形	準優勝	
	8	全国高校総体	男子総合	5 位	
			男子個人組手	3 位	（中南　竜）
			男子個人形	3 位	（鈴木源信）
H 6.	3	全国選抜大会	男子団体組手	5 位	
			男子団体形	5 位	
			女子団体組手	優　勝	
			女子団体形	4 位	
			女子個人組手	3 位	（藤原海代子）
			女子個人形	6 位	（藤原海代子）
			〃	8 位	（葛城樹理）
	6	アジアジュニア選手権	団体組手（日本チーム）	優　勝	（藤原海代子）
			女子個人組手	準優勝	（藤原海代子）
				3 位	（込山春代）
			女子個人形	準優勝	（藤原海代子）

H 6.	7	世界ジュニア選手権	団体組手(日本チーム)	準優勝	(藤原･込山)
			女子個人組手	準優勝	(込山春代)
			女子個人組手	3 位	(藤原海代子)
H7.	3	全国選抜大会	男子団体形	準優勝	
			女子団体組手	準優勝	
			女子個人組手	3 位	(小笠原万記)
	8	全国高校総体	男子総合	6 位	
			男子団体組手	5 位	
			男子個人形	4 位	(横山　聡)
			女子総合	6 位	
			女子団体組手	5 位	
			女子個人組手	優　勝	(小笠原万記)
H 8.	3	全国選抜大会	男子団体組手	3 位	
			男子団体形	4 位	
			男子個人形	7 位	(小塩博文)
			女子団体組手	準優勝	
			女子個人組手	優　勝	(小笠原万記)
	8	全国高校総体	男子総合	4 位	
			男子団体組手	3 位	
			男子個人組手	3 位	(植松孝也)
			女子総合	3 位	
			女子団体組手	3 位	
			女子個人組手	3 位	(小笠原万記)
	8	アジアジュニア選手権	女子団体組手(日本チーム)	優　勝	(小笠原万記)
			女子個人組手	優　勝	(小笠原万記)
H 9.	3	全国選抜大会	男子団体組手	3 位	
			男子団体形	5 位	
			女子団体組手	5 位	
			女子団体形	6 位	
			女子個人組手	5 位	(橋本千春)
	8	全国高校総体	女子総合	優　勝	
			女子団体組手	優　勝	
	10	なみはや国体	女子個人形	3 位	(竹前智香子)
H10.	3	全国選抜大会	男子団体形	2 位	
			男子個人形	5 位	(内海　健)
	8	全国高校総体	男子個人組手	5 位	(猪越悠介)
			女子総合	6 位	
			女子団体組手	5 位	
			女子個人形	4 位	(竹前智香子)
H11.	3	全国選抜大会	男子団体組手	5 位	
			男子団体形	4 位	
			女子団体組手	5 位	
			女子個人組手	優　勝	(奥家沙都美)

H11.	8	全国高校総体	男子総合	準優勝	
			男子団体組手	準優勝	
			女子個人組手	準優勝	（奥家沙都美）
	10	くまもと国体	女子個人組手	優　勝	（奥家沙都美）
H12.	3	全国選抜大会	男子団体組手	優　勝	
			男子個人組手	準優勝	（小笠原大晃）
			男子団体形	6 位	
	8	全国高校総体	男子総合	優　勝	
			男子団体組手	優　勝	
			男子個人組手	優　勝	（小笠原大晃）
	8	アジアジュニア選手権	団体組手（日本チーム）	3 位	（扇　裕臣）
H13.	3	全国選抜大会	男子個人組手	3 位	（栗林建太）
	8	全国高校総体	男子総合	5 位	
			男子団体組手	5 位	
			男子個人組手	5 位	（栗林建太）
H14.	3	全国選抜大会	男子団体形	4 位	
			男子個人形	4 位	（和氣長治）
			男子個人組手	5 位	（扇　裕臣）
	8	全国高校総体	女子団体組手	3 位	
			女子総合	4 位	
			男子個人形	6 位	（和氣長治）
	10	よさこい国体	男子個人組手	5 位	（栗林建太）
H15.	3	全国選抜大会	男子団体形	4 位	
			男子個人組手	準優勝	（岡田達宜）
			女子団体組手	5 位	
	8	全国高校総体	男子個人組手	優　勝	（平石雄也）
	10	NEW! わかふじ国体	少年女子組手	優　勝	（阪本静佳）
			少年男子組手	3 位	（平石雄也）
H16.	3	全国選抜大会	男子団体形	6 位	
			女子団体組手	準優勝	
			女子団体形	5 位	
			女子個人組手	準優勝	（阪本　静佳）
			女子個人組手	5 位	（遠藤由貴奈）
H16.	8	全国総体	女子総合	5 位	
			女子団体組手	5 位	
			女子個人組手	準優勝	（阪本　静佳）
			女子個人組手	5 位	（遠藤由貴奈）
H17.	3	全国選抜大会	男子団体組手	5 位	
			男子団体形	5 位	
			男子個人組手	優　勝	（佐藤　龍治）
			女子団体形	3 位	

H17.	8	全国総体	男子個人組手	3 位	（佐藤　龍治）
			男子個人組手	5 位	（穂積　佑宜）
			女子総合	4 位	
			女子団体組手	3 位	
H18.	3	全国選抜大会	男子団体組手	5 位	
			男子団体形	5 位	
			男子個人形	準優勝	（渡邊　翔）
			女子団体組手	5 位	
			女子個人租手	優　勝	（葛西美由紀）
			女子個人形	5 位	（葛西美由紀）
H18.	8	全国総体	男子総合	3 位	
			男子団体組手	準優勝	
			男子個人組手	5 位	（栗田　雄介）
			女子団体組手	5 位	
H18.		国民体育大会	少年男子組手	5 位	（栗田　雄介）
			少年女子組手	5 位	（葛西美由紀）
H19.	3	全国選抜大会	男子団体組手	5 位	
			男子団体形	優　勝	
			男子個人形	5 位	（山崎　涼）
			女子団体組手	準優勝	
			女子個人組手	3 位	（赤井　希）
H19.	8	全国総体	男子総合	6 位	
			男子団体組手	5 位	
			男子個人形	5 位	（山崎　涼）
			女子個人組手	5 位	（村越　美紀）
H19.	9	世界ジュニア＆ カデット選手権	男子個人組手		
			カデット－65kg 級	準優勝	（川崎　紘輝）
H19.	10	国民体育大会	少年女子組手	3 位	（村越　美紀）
H20.	3	全国選抜大会	男子団体組手	3 位	
			男子団体形	5 位	
			男子個人組手	5 位	（木村　創）
			男子個人形	5 位	（山崎　涼）
			女子団体組手	5 位	
			女子個人組手	3 位	（北村　愛）
H20.	8	全国総体	男子個人形	5 位	（山崎　涼）
			女子個人組手	5 位	（葛西由里加）
H21.	3	全国選抜大会	男子団体組手	準優勝	
			男子団体形	5 位	
			男子個人組手	3 位	（須田芳広）
			女子団体租手	5 位	
			女子個人組手	優　勝	（金子悠里）

H21.	8	全国総体	男子総合	5位	
			男子団体組手	5位	
			男子個人組手	優　勝	（須田　芳広）
			男子個人組手	5位	（高塚　啓介）
H21.	10	世界ジュニア＆カデット選手権	男子個人組手		
			ジュニアー55kg級	3位	（高塚　啓介）
			女子個人組手		
			ジュニアー53kg級	4位	（金子　悠里）
H22.	3	全国選抜大会	男子団体組手	5位	
			男子団体形	5位	
			男子個人組手	3位	（高塚　啓介）
			男子個人形	5位	（篠崎裕弥）
			女子団体組手	優　勝	
			女子団体形	5位	
H22.	8	全国総体	男子総合	5位	
			男子個人組手	3位	（佐合　尚人）
			男子個人組手	3位	（高塚　啓介）
			女子総合	4位	
			女子団体組手	3位	
			女子個人形	5位	（茂木ゆりか）
H22.	10	国民体育大会	少年女子組手	5位	（豊泉諒子）
H23.	3	全国選抜大会	東日本大震災のため中止		
H23.	7	アジアジュニア＆カデット選手権	男子個人組手		
			カデットー61kg級	3位	（小野田守徒）
H23.	7～8	全国総体	男子総合	4位	
			男子団体組手	3位	
H24.	3	全国選抜大会	男子団体組手	3位	
			男子個人形	5位	（田原　武豊）
			女子団体形	5位	
			女子個人組手	5位	（抜井　菜美）
H24.	5	東アジアジュニア＆カデット選手権	男子個人組手		
			ジュニアー68kg級	3位	（五明　宏人）
			女子個人形	優　勝	（東海林ゆりあ）
H24.	8	全国総体	男子総合	4位	
			男子団体組手	3位	
			女子総合	3位	
			女子団体組手	3位	

全国高校総体	26年連続出場中
全国選抜大会	26年連続出場中
国民体育大会	24年連続出場中

御殿場西高校空手道部最新情報はこちら!

御殿場西高校空手道部　検索

御殿場西高等学校空手道部

〒412-0041
静岡県御殿場市ぐみ沢644－1
TEL 0550(89)2466　FAX 0550(89)5172
URL http://www.gotembanishi-h.ed.jp/
Mail gonishi@gotembanishi-h.ed.jp

空手道部
http://clubs.gotembanishi-h.ed.jp/karatedo/

発行　平成24年(2012)9月